オーストラリア・ニューカッスルグローバル研修報告書

【研修概要】

研修目的	①　グローバル社会における課題や多文化共生社会の現状・様子を直に協定校ニューカッスル大学教員の特別講義及び研修期間中の実地から学び，また，その根幹となる言語（英語）学習により，自らの考え・意見を伝える力及び異なる背景・意見をもつ人々への理解・尊重する精神を養う。 ②　海外の学生と共に学ぶ学習や交流プログラム等を通して，異文化理解やコミュニケーション能力の向上を図る。 ③　様々な学部等から参加する学生と共に，本学初の海外拠点があるニューカッスルやオーストラリアを知ることを通して，多様な価値を受容し，自己の立場・役割を認識する力を伸ばす。
研修場所	① 日本大学ニューカッスルキャンパス　教育棟 ② ニューカッスル大学及びニューカッスル大学 PALS 学習支援センター（Pathways and Academic Learning Support Centre）
所在地	オーストラリア連邦ニューサウスウェールズ州ニューカッスル市
研修期間	令和７年３月１０日（月）～３月２９日（土）２０日間
研修内容	①　講義　（各１時間を２回，事前事後学習各１時間を２回，合計４時間） ※ ニューカッスル大学教員による本研修のために特別に用意された内容でオーストラリアにおけるグローバルな課題及び多文化共生社会に関するテーマを扱う。また講義受講に当たり，事前と事後学習を実施する。 (1) Global Issues（グローバル課題） (2) Indigenous Australia　（オーストラリアの原住民について） ②　実地研修（各２時間を３回，合計６時間） (1) ニューカッスル市内の地理，歴史，交通，環境等を歩いて学ぶ研修 (2) 講義（Indigenous Australia)に関連して，ニューカッスル大学カラハンキャンパス Wollotuka 研究センターへの訪問及び意見交換を行う研修 (3) ニューカッスル大学カラハンキャンパスの研究ラボ

	（言語学分野予定）を訪問し海外の大学の実情を見聞する研修 ③　　語学研修（語学授業４１時間（語学オリエンテーションを含む），交流プログラム９時間，合計５０時間） 現地で留学生向けに開講されている英語クラス（English Language Bridge Program(略称 ELBP)）に参加し，能力別クラスで英語の４技能（Speaking, Listening, Writing, Reading）を学ぶ。多様な国々からの留学生と勉学を共にすることにより，語学知識の修得にとどまらず，異文化や多様性を意識したコミュニケーション能力を有する人材育成を行う。 また，本学に用意されたニューカッスル大学の学生との交流プログラム等（Student-led Cultural Exchange Activities Program(略称 SEP)）を通して，教室で学んだ英語の実践やニューカッスルとのつながりを構築する。
単位認定	有　※ ただし学生本人の単位認定希望状況や所属学部等により異なる
補助等	日本大学校友会から参加者全員に対し渡航費の寄付を受領
研修参加人数	３０名

【学生による研修報告書】

所属学部・研究科　　文理学部
氏名　　S さん
研修期間　　2025 年 3 月 10 日（月）～3 月 29 日（土）

本オーストラリア・ニューカッスルグローバル研修において、日本ではなかなかできない体験や経験、慣れない外国という環境での生活を通じて、いろんな部分において私自身が成長できたと感じる。その中でも、大きく成長したと感じるものは、異文化理解とコミュニケーション能力に関するものである。

前者に関しては、研修 1 週目に行われた、Richard さんによる Indigenous Australia の講義において、アボリジニに関する歴史や実際の生活に関することを学び、Wollotuka Institure での実地研修では伝統的な儀式や楽器などについて学び、SEP においてオーストラリアの Slung、動物、レストランのマナー、お店に関する知識などを学んだ。これらのことを通じて、オーストラリアに関する文化や歴史の理解をよりいっそう深めることができたと思う。

後者に関しては、もともと私は人見知りが強く、自分から率先して話しかけることをあまりしないけれど、語学学校には現地の学生はもちろん、いろんな国や地域からの留学生がおり自分からできるだけ話しかけるように意識をしていた。みんなフレンドリーに会話をしてくれたおかげで自信がついたように感じる。また、Japanese-English Club に積極的に参加し、いろんな学生と会話をする機会を多く設け、英語のレベルアップはもとより自身のコミュニケーション能力の向上を図り、以前よりも格段に向上していると感じる。Club に参加しいろんな学生と会話することで、相手の国の文化などを知る機会にもなり、異文化理解の点においても非常に良く、また相手の意見を尊重し話をするという態度の大切さを改めて実感する機会となった。

これらのことを通じて、学生生活において、他人とコミュニケーションをとる際には臆せず自分から積極的に話すとともに相手への尊敬を忘れない。また、日本には外国の方が数多くいらっしゃるので、そういった人たちの国や文化に対する偏見などは持たず、それを理解し毅然とした態度で接していくとともに、困っている外国の方がいたら率先して声をかけ、研修で培ったものを発揮していきたい。また、英語の教員になることが夢であるので、教員になった際にこの経験を生かすとともに、英語の楽しさや異文化理解の重要性を教えることのできる教員になれるよう努力する。

最後に、この研修がすばらしいものになったのは、保護者をはじめ、国際化推進室の皆様、ニューカッスルキャンパスの方々、ニューカッスル大学の方々、そして日本大学校友会の皆様の支援があったからであり、心より感謝申し上げます。これから先もいろんな形でたくさんの方の支援を受ける機会があると思いますが、それを当たり前だと思うことなく、しっかりと感謝の気持ちを忘れずに、日々精進してまいります。